

令和 6 年度
学校関係者評価報告書

令和 7 年 5 月
学校法人すみれ学園
四国医療福祉専門学校

1 学校関係者評価委員

委員

野崎 泰博 委員長(元高等学校校長)
山口 吉英 委員 (特別養護老人ホーム愛生苑 施設長)
山田 能之 委員 (医療法人社団叶夢会 やまだ歯科クリニック 事務長)
小野 茂男 委員 (医療法人社団海部医院 透析室室長)
神原 良宏 委員 (本校卒業生)
成合 園恵 委員 (保護者)

学校

内田 信弉 (校長)
鎌田 綱 (教務主任)
中岡 勉 (介護福祉学科学科長)
定木 啓至 (医療事務学科学科長)
西岡 幹人 (臨床工学学科学科長)
小西 明弘 (事務課長)
水井 資道 (広報課長) (計 13 名)

事務局

小西 明弘(事務課長)、水井 資道(広報課長)

2 学校関係者評価の実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員に自己点検評価の結果を各担当者より説明し、評価結果についてご意見をいただきました。いただいたご意見を本報告書の中に取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の向上に努めることとし、ホームページに公表致します。

3 学校関係者評価委員会 開催日時

令和 7 年3月 29 日(土曜日) 10時00分～11時 40 分 四国医療福祉専門学校

- 1.校長挨拶及び趣旨説明 鎌田教務主任
- 2.学校関係者評価委員紹介 事務局
- 3.学校関係者紹介 事務局
- 4.自己評価概要説明
- 5.意見交換

自己点検評価の説明について、質疑応答や改善点の提案等について意見交換(別紙参照)

- 6.閉 会

別紙

令和6年度 学校関係者評価委員会 質疑応答・意見内容

発言者	内容
鎌田教務主任	自己評価報告書に基づき、令和6年度の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献について説明。 令和6年度より留学生を受け入れている。（日本語の問題また日本人学生との交流など課題であったが問題なく学生生活を送っている） 香川県からの養成施設実地調査があった。（香川県からの指導は特になし）
定木学科長	自己評価報告書に基づき、令和6年度の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献について説明。 新たな取組みとして医療機器関連会社と連携してレセプトチェッカーの特別授業を行う。 学生の防災意識を高めてもらう為に香川大学と連携して防災の特別授業を行う。 オープンキャンパスで歯の模型を使った体験授業を始めて行う。 次年度は企業説明会を新たに行う予定。
西岡学科長	自己評価報告書に基づき、令和6年度の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献について説明。 今年度、旧カリキュラムの最後の学生を送り出した。 新カリキュラムの2年目になる。
水井課長	自己評価報告書に基づき、評価項目の学生募集と受け入れについて説明。 次年度の留学生が3名入学予定 学生募集は依然として厳しい状況である。 次年度の取組みとして高校との連携をより強化していく。 県外流出を防ぎ、県内進学を高めていく。
山口委員	今年度は介護福祉士国家試験の合格率が下がっている中で18名合格したのはよかったのではないかと。 介護研究紀要を見させてもらったがレベルが高い内容である。 日々の先生方の努力が直結していると思われる。 医療事務学科で口腔衛生の特別授業をしているが介護福祉学科と合同ではどうか。 口の中のことを考えることができる介護福祉士を各施設に送り出すことが出来るよい機会になると思う。 留学生に関しては外国人労働者がいない社会は介護以外の分野についても考えられない。 他の学科の生徒と留学生が交流する機会があってもよいのではないかと。各国の文化を学ぶことができ、文化の違いを感じるチャンスである。 介護の現場で電子機器を活用したものが求められているので電子機器に強い学生を育てるのが学校の強みになるのではないかと。
山田委員	昔は受付で医療事務員が会計をしていたが、パソコンなどの発達によってお金のやり取りが電子マネーなどでできてしまう。 医療事務の仕事とはどういうものがあるのか。

	医療事務を希望する人は減っているが、医療現場では違う分野で医療事務のスタッフが必要になってくる。求められる人材として経営、経済に関われる人材がほしい。 以前は受付が専門で医療事務員が行っていたが、最近はだれでもが受付をできるようになってきており、事務を衛生士や看護師が行っている。 医療事務は様々なことしなければならないのに国家試験がなく、目標とするものがないのが難しい。
小野委員	臨床工学技士が誕生して 40 年になるが認知度はまだまだ低い。 働き方改革によって若い人は休みがほしい方が勝ってしまうので休みの日に学会や講演会があっても若い人はほとんど参加しない。 若い人が参加しやすいようにズームなどでセミナーを行っているが参加者が少ない。 原因として国家試験に合格することがゴールだと思っている。 入職して 2～3 年足踏みをしている職員がいる。夜勤や早出の準備を任そうとしてできないことを実感し頭打ちになる。そして初めてセミナーなどを受けるようになる。 臨床工学技士会に多くの人に入会してもらい、職業としての臨床工学技士の認知度を高めて行きたい。
神原委員	介護福祉士国家試験 18 名合格したのは合格率が低い中で成果が出たのではないかな。 少子化の現状で人材確保が難しい中、学生募集には尽力を尽くされていると思う。 現状ゆくゆくは ICT 化、口腔連携、栄養連携を職場でも取り入れて行きたいと考えているので学校でも視野に入れて教育して頂くとありがたい。 この学校の卒業生の特色としてきちんと挨拶ができるのはよいことであり、引き続きしっかりとした教育を行って頂きたい。
成合委員	子供は自宅から通学しているが家に帰ってから学校生活のことを話す。 今は資格取得に向けて日々勉強している。研修旅行などいろいろメリハリのある中で充実した学校生活を送れているのではないかと思っている。 先生と生徒の距離感が近く、相談がしやすい。2 年生になると就職活動もあるので社会人になるためにもこれからがんばってもらいたい。
野崎委員長	医療事務は医療事務だけをしていればいいというのではなく、もっと自分から違った能力を開発することが必要ではないか。 自分を一定のところで留めておくのではなく、積極的に研修などに参加し、自己開発していかなければならない。資質が求められている。 学校運営について今、公立高校入試でほとんど定員割れしている。 学校の校則に縛られるのが嫌でサポート校等に何百人と進学している。 昔は公立がダメであれば私立であったがそういった概念はなくなり、最初から私立を希望している生徒が増えている。 学校がどんな魅力があるのか、どんな学校生活が送れるのか価値観が変わってきている。 地方の大学、専門学校に突きつけた大きな課題であると感じられる。
鎌田教務主任	本日、いただいた提言を活かして、今後も学校運営を行っていきたいと考えている。最後に感謝申し上げて閉会としたい。

※介護福祉学科の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献の自己評価と関係者の評価は同じ。

※医療事務学科の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献の自己評価と関係者の評価は同じ。

※臨床工学学科の評価項目の教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、社会貢献・地域貢献の自己評価と関係者の評価は同じ。

※評価項目の学生募集の自己評価と関係者の評価は同じ。

※評価項目の財務、法令等の自己評価と関係者の評価は同じ。

※評価項目の総括の自己評価と関係者の評価は同じ。

評価項目の集計結果（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）

(1) 教育理念・目的・育成人材像

評価項目	自己評価	関係者評価
・教育理念・目的・育成人材像は、定められている。	4	4
・社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いている。	4	4

(2) 学校運営

評価項目	自己評価	関係者評価
・運営方針は教育理念等に沿ったものになっている。	4	4
・事業計画を作成し、執行している。	4	4
・組織運営は適切に行われている。	4	4
・人事・給与に関する制度を確立している。	4	4
・業務の効率化を図っている。	4	4

(3) 教育活動

評価項目	自己評価	関係者評価
・教育理念、育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されている。	4	4
・教育課程（カリキュラム）は、明文化されている。	4	4
・キャリア教育・職業教育を実施している。	4	4
・授業改善のための取り組みが行われている。	4	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっている。	4	4
・成績評価等を適正に行っている。	4	4
・資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいる。	4	4
・資格・免許取得のための指導体制がある。	4	4
・資格・要件を備えた教員を確保している。	4	4
・教員の能力向上に向けた取り組みを行っている。	4	4
・地域と協力、連携した教育を行っている。	4	4
・地域の特性を活かした教育を行っている。	3.7	3.7

(4) 学修成果

評価項目	自己評価	関係者評価
・資格・免許取得率の向上が図られている。	4	4
・就職率の向上が図られている。	4	4
・香川県内、関連業界への就職が図られている。	4	4

(5) 学習支援

評価項目	自己評価	関係者評価
・ 退学率の低減が図られている。	3.7	3.7
・ 就職等進路に対する支援体制は整備されている。	3.7	3.7
・ 就職等進路に関する教育・指導を行っている。	4	4
・ 学生相談に関する体制は整備されている。	4	4
・ いじめ等の防止・対応のための体制は整備されている。	4	4
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されている。	3.7	3.7
・ 学生の健康を担う組織体制はある。	4	4
・ 生活環境支援体制を整備している。	4	4
・ 保護者・保証人との連携を図っている。	4	4
・ 卒業生の動向を把握している。	3.7	3.7
・ 卒業生への支援体制を整備している。	3.3	3.3
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備している。	3.7	3.7

(6) 教育環境

評価項目	自己評価	関係者評価
・ 教育上、必要、かつ十分な種類・数の施設・整備がされている。	4	4
・ 校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備している。	4	4
・ 防災・安全管理に関する体制を整備している。	4	4
・ 防災訓練等を実施している。	4	4

(7) 学生募集と受入れ

評価項目	自己評価	関係者評価
・ 学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っている。	4	4
・ 授業料等納付金の取扱いは適切に行われている。	4	4
・ 社会人入学生の獲得に向け、対策を講じている。	3	3

(8) 財務

評価項目	自己評価	関係者評価
・ 学校及び設置者の収支、財政基盤は安定している。	4	4
・ 予算は計画に従って適切に執行されている。またそれを確認している。	4	4
・ 会計監査、財務情報公開が行われている。	3	3

(9) 法令等の遵守

評価項目	自己評価	関係者評価
・専修学校設置基準・各種学校規程及び関係法令の遵守と、適正な運営がなされている。	4	4
・個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っている。	4	4
・自己評価を実施し、その結果を公表している。	4	4
・学校の教育情報について、積極的に公開している。	4	4

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価	関係者評価
・学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	4	4
・学生のボランティア活動を奨励・支援している。	4	4
・学生の地域との交流を奨励・支援している。	4	4
・高校生等の職業意識涵養に努めている。	4	4

(11) 総括

評価項目	自己評価	関係者評価
・学校評価の実施について評価している。	4	4